

知事リコール署名 83%無効

写真は中日新聞 2 月 2 日朝刊の社会面に大きく掲載された表題の記事。ネットなどで知ったが、大阪市立中央図書館で地元の中日新聞をコピーしたものだ。

大村知事のリコール運動で、なぜ無効な署名が 8 割超もあったのか。運動に携わった人からは、一部でずさんな署名集めがあったとの声上がる。

リコール推進団体のある関係者は、署名を各地の選管に提出した昨年 11 月 4 日朝、スタッフの 1 人から「内密に手伝ってほしい」とメールで頼まれ、他の数十人と一緒に名古屋市内のホテルに集められた。そこで「署名に必要な指印がないものはまとめて押す」と言う人や、ホテルを出た後で数十人分の指印を一人で押す人がいた。

この関係者によると、同一筆跡とみられる署名が多数あり、番地の近い住所が立て続けに書かれていたり、転居した知人の住所が古いままだったり、不自然な署名が目立った。ボランティアとして運動に参加した尾張地方の自営業の 40 代男性は「明確な指示がなく、自分の地元で街頭に立ったのは月に 3、4 日程度。集まった署名数を聞いて、こんなにあるわけないと思った」と話す。

運動の発起人となった複数の「請求代表者」は、本紙の取材に「不正な署名集めはしていない」と否定した。ある代表者は「一部の人間が古い名簿などを集め、目の届かないところで書き写したのではないかと推測する。

リコール運動の中心、美容外科「高須クリニック」の高須院長は 1 日の取材に「無効な署名には気付かなかった。票を増やそうとした人もいるかもしれないが、活動を妨害するため、わざと問題になる署名を書いた人がいるかもしれない」と話した。

河村市長は昨年 8 月の運動開始以降、高須氏らと街頭に立つなどして積極的に活動を応援してきた。報道人の取材に「組織的に署名を偽造した犯罪があった。ものすごい怒っている。リコール制度の根幹に関わる」などと怒りをあらわにした。自身や事務所の関与はまったくないと全面否定した。大規模な不正が横行した可能性が高い運動を後押しした責任について問われると「真相を明らかにすることが僕の責任」と述べた。

責任逃れをする河村市長とともに、高須院長らのリコール運動にエールを送った吉村大阪府知事の政治責任も問いたい。昨年 6 月 2 日、吉村知事はリコール運動に「僕は応援します」と発言。高須院長は「愛知県にこんな知事が誕生してほしい」と答えている。

(2021 年 2 月 13 日)

